

国道47号 雪崩緊急点検結果について

平成25年2月18日（月）、宮城県内の国道47号において、専門家と合同の雪崩点検を実施した結果、今回の点検においては雪崩発生の危険性や、早急な対策が必要な斜面は確認されませんでした。今後も継続して目視点検等を実施することとしています。

なお、今後とも降雪や路面凍結等が予測されますので、安全運転にご協力をお願いいたします。

○点検実施日 : 平成25年2月18日（月）

○点検箇所 : 国道47号（大崎市鳴子温泉古戸前～川端地内）9箇所

○点検方法 : 雪崩対策専門家及び職員による目視点検

雪崩対策専門家 独立行政法人 防災科学技術研究所 新庄支所
阿部 修支所長（博士）、佐藤 研吾研究員（博士）

○点検結果 : 裏面（点検結果）を参照願います。

* 発表記者会等

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、大崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

電話番号：022-248-4131

道路担当副所長 おくやまえいじ 奥山英治（内線206）

道路管理第二課長 ただしげお 武田滋生（内線441）

雪崩緊急点検実施結果

仙台河川国道事務所管内の国道47号の累加降雪量は、平成12年・17年に次いで過去3番目の降雪量となっており、これからの時期は気温の上昇や降雪等によっては雪崩が発生しやすい状況となっております。

仙台河川国道事務所では、これまでも雪崩予防・防止対策として、雪崩防止策等を設置するとともに、道路パトロールにより危険箇所の確認を実施しておりますが、今回雪崩対策の専門家と合同で危険箇所の点検を実施しましたので、点検結果をお知らせします。

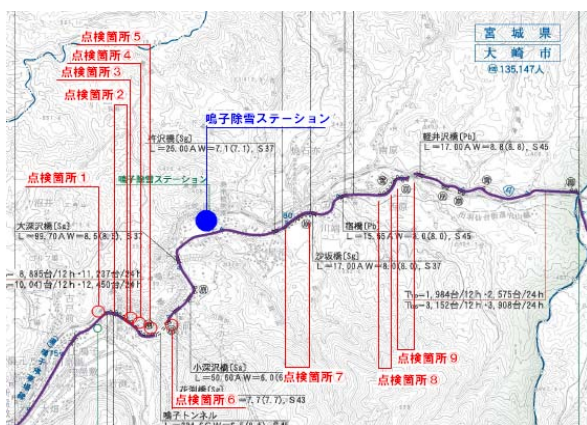
国道47号 鳴子除雪ステーション地点の累加降雪量（数値は各年とも2/18現在）

H25：738cm（5箇年平均532cm） H24：656cm

観測史上1番目降雪 799cm（H12）

観測史上2番目降雪 754cm（H17）

▼点検箇所位置図



▼雪崩点検実施状況



▼雪庇処理前



▼雪庇処理後



○雪崩緊急点検結果

・国道47号の雪崩が心配される斜面箇所を点検した結果、今回は雪崩発生危険性が高い箇所はありませんでした。

・早急な対策が必要な箇所はありませんでしたが、継続的に目視点検を実施し、雪庇処理・堆雪ポケットの確保等の対策を引き続き行っていくこととしております。